

令和4年度第2回子ども・子育て会議委員意見まとめ（3/14書面開催）

1. 第2期子育て未来応援プラン「あしや」の中間見直し内容の変更について【会議資料1-1～1-3別添】

会議資料	意見・質問・気付いた点など	事務局回答	所管課
資料1-2	<p>私が10年前に1歳のこどもをあずけたいとおもったときよりもかなり多くの保育キャパシティが増えていると感じ、すごくよくなったな、と感じています。</p> <p>(そのころは、少ないところでも待機60人くらいいるといわれた)</p> <p>残念ながら、こどもの数がここ二年で100人以上減っていることをふまえると、この見直しは妥当だとおもいます。</p>	<p>ご意見のみ掲載</p>	<p>ほいく課</p>
資料1-2	<p>令和5年度の教育・保育の提供体制の確保の内容令和4年4月1日現在、1・2歳児の保育所利用率は56%であり、つい数年前に50%を超えたことを考慮すると、今後、減少傾向に転じることは予測困難です。</p> <p>そうした状況も踏まえながら、今後の供給量を確保していく必要があると考えました。圏域ごとに傾向が異なるため、各圏域の特性に応じた供給が求められるのだらうと思います。</p>	<p>ご意見のみ掲載</p>	<p>ほいく課</p>
資料1-3	<p>第5章地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策</p> <p>2.放課後児童健全育成事業</p> <p>放課後児童～のニーズ量予測については、2号認定児童数（一部の1号認定も含む）を参酌した予測となっているのでしょうか。</p> <p>令和5年度の教育・保育見込みを見ると、概算で1学年300人程度となります。</p> <p>また、資料1-3、3ページを見ると、量の見込み、令和5年度の1年生が257人、令和6年度2年生が212人となり、18%減となっています。1年生から2年生に進級するにあたって、約2割の子どもが放課後児童～を利用しなくなるものなのでしょうか。</p> <p>放課後児童健全育成事業については、量的拡充の見通しが必要かと思えます。</p> <p>教育・保育と放課後児童健全育成事業は、どうしても量で測ってしまうのですが、質の担保についても求められるところですが、どのようにそれらの質を担保するのか、についても見通しが求められます。</p>	<p>ニーズ予測につきましては、2号認定児童数を考慮した予測となっております。</p> <p>また、放課後児童クラブは低学年ほど入級率が高く、1年生から2年生に進級するにあたっての減少理由としましては、キッズスクエアへの変更や習い事の開始等により退会するケースがございます。</p> <p>なお、質の担保につきましては、年に2回の支援員対象の研修を受講していただいていること及び委託業者と直営職員との交流会を実施し、業務方法を共有することで、互いに切磋琢磨する状況ができております。</p>	<p>青少年育成課</p>

2. 第1回芦屋市子ども・子育て会議委員意見まとめについて【会議資料2-1】

資料	意見・質問・気付いた点など	事務局回答	所管課
資料2-1	<p>こそだてサポートブックの完全電子化に関しては、たしかに、母親達はそんなに分厚い本を読む時間がないのかもしれませんが、あと五年くらいは、書類と電子両方でもいいかなとおもいます。五年たったらまた時代がちがうとおもいます。</p>	<p>子育てサポートブックわくわく子育てに関しては、妊娠中のかたや就学前のお子さんがある保護者のみなさまに、芦屋市の子育て支援サービスをわかりやすく紹介するために作成しておりますので、引き続き作成していきます。しかし、ご指摘のとおり、ペーパーレス等の観点から、今後の子育てアプリの浸透等、機会を捉えて子育てサポートブック作成の必要性について、検証してまいります。</p>	こども政策課
資料2-1	<p>幼稚園の三年生保育に関しては、絶えずPTA協議会であがる議題です。こどもが少なくなっている現状から見ると納得せざるを得ない状況であることは、保護者も仕方なく納得しています。。。</p> <p>でも、幼稚園とこども園、両方とも通わせている親からは、芦屋市立の幼稚園教育のすばらしさ(コマ回しやけん玉で得る粘り強さ、竹馬で体幹を鍛えるカリキュラムなど)をこれからも子育てのメインにしてほしいとおもっています。(現在、小五になる娘の周りで積極的に学校で活躍しているのは幼稚園の友達が非常に多いです！)</p> <p>幼稚園教育の存続の鍵が三年保育にあるとはおもうので、これからも、声をあげていくとおもいます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により、人口動態の推移が見込みにくい状況であるため、今後の動向把握に努めてまいります。</p> <p>今後のあり方については、公立幼稚園だけでなく児童数推移、保育所等の待機児童数、私立幼稚園の状況なども含め、市内全体の就学前施設について、慎重に見極めていく必要があると考えております。</p>	管理課
資料2-1	<p>キッズスクエアに関しては、小3の息子も利用しますが、非常にありがたいです。友達と放課後学校で安全な場所で遊べるのは大変いいです。いいおもちゃもあるときいてます。高学年になると、キッズスクエアいかないという方もいますがこの安心感から、利用者増えるのかな、とおもいます。</p> <p>参加人数の少ない日もあるとおもいますが、親としては預けられるという気持ちだけで安心しますので、これからもよろしくおねがいします。</p>	<p>キッズスクエアについては、子どもたちの放課後の居場所の一つとして、地域の方々の協力を得て、実施させていただいております。</p> <p>子どもたちが室内や室外で自由に遊ぶのを地域の方々が見守り、体験プログラムがある時は、参加したければ参加するなど、子どもたちが自由に過ごせる場となっております。</p> <p>今後も、よりよい放課後の居場所となることを目指し、取り組んでまいります。</p>	青少年育成課

3. 特定教育・保育施設の利用定員の設定について【会議資料3-1～3-2】

資料	内容	事務局回答	所管課
資料3-1 資料3-2	<p>定員に関しては、かなり保護者の好み偏っているようにみえます。</p> <p>いまは、あふれてしまった保護者のための、他保育園の斡旋相談とかうけつけているのでしょうか？私が10年前、一才児を預けようとしたとき、市役所の保育課の方は、待機です、しかいってくれず、絶望しながら自分で一覧に書いてある保育園に一件一件電話をかけて、空きを確認しました。(笑)</p> <p>空きを随時確認しているのであれば、そういった斡旋(どんな保育園なのか特徴も答えられる)も窓口としてうけつけてくれたら、あふれてしまった保護者も安心するのでは、とおもいます。空いてる=なにか問題があるのでは、と保護者はおもうので、空きがある保育所を有効活用するためにも、保育所窓口担当が、「ここはこんないい保育園だから大丈夫です」とお伝えいただき、待機解消と保護者の預けたいニーズにこたえられるようにしたらどうかとおもいました。便利さも保育園を選ぶ理由の一つですが、いかにいい保育を我が子に受けさせられるかで親としてはがんばれますので少し遠くても、いい園があればおすすめしてほしいです。</p>	<p>現在は、保育コンシェルジュを配置し、保護者からの不安や困りごとに対して、窓口や電話において案内・サポートを行っております。</p> <p>また、認可保育施設であれば毎月1日時点の入所予定児童数をホームページに掲載し、認可保育施設の空き状況を公表するとともに、電話や窓口においては入所予定児童数をもとに説明を行い、保護者や子どもの状況も聴き取りながら対応しております。</p> <p>なお、委員ご指摘のとおり各施設それぞれに特徴がございますので、できるだけ施設見学に行っていただくよう案内をしております。</p>	ほいく課
資料3-2	<p>特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員数一覧</p> <p>こちらの資料を拝見すると、公立幼稚園の定員充足率が軒並み低く、最高でも岩園幼稚園の47.2%で、次が34.2%、15.6%と続き、最低が13.3%2か所となっています。</p> <p>私学なら倒産レベルです。</p> <p>こうした利用状況を前提として、「市立幼稚園・保育所のあり方について」が作成されているのでしょうか。少なくとも公立幼稚園5園が必要と言いだない現状です。</p> <p>「市立幼稚園・保育所のあり方について」の再検討が必要です。</p>	<p>平成28年度から取り組んできました「市立幼稚園・保育所のあり方」において、各園所の適正規模を検討し、統合・廃園等を実施してきたところです。</p> <p>【ほいく課回答】</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、人口動態の推移が見込みにくい状況であるため、今後の動向把握に努めてまいります。</p> <p>今後のあり方については、公立幼稚園だけでなく児童数推移、保育所等の待機児童数、私立幼稚園の状況なども含め、市内全体の就学前施設について、慎重に見極めていく必要があると考えております。【管理課回答】</p>	ほいく課 管理課